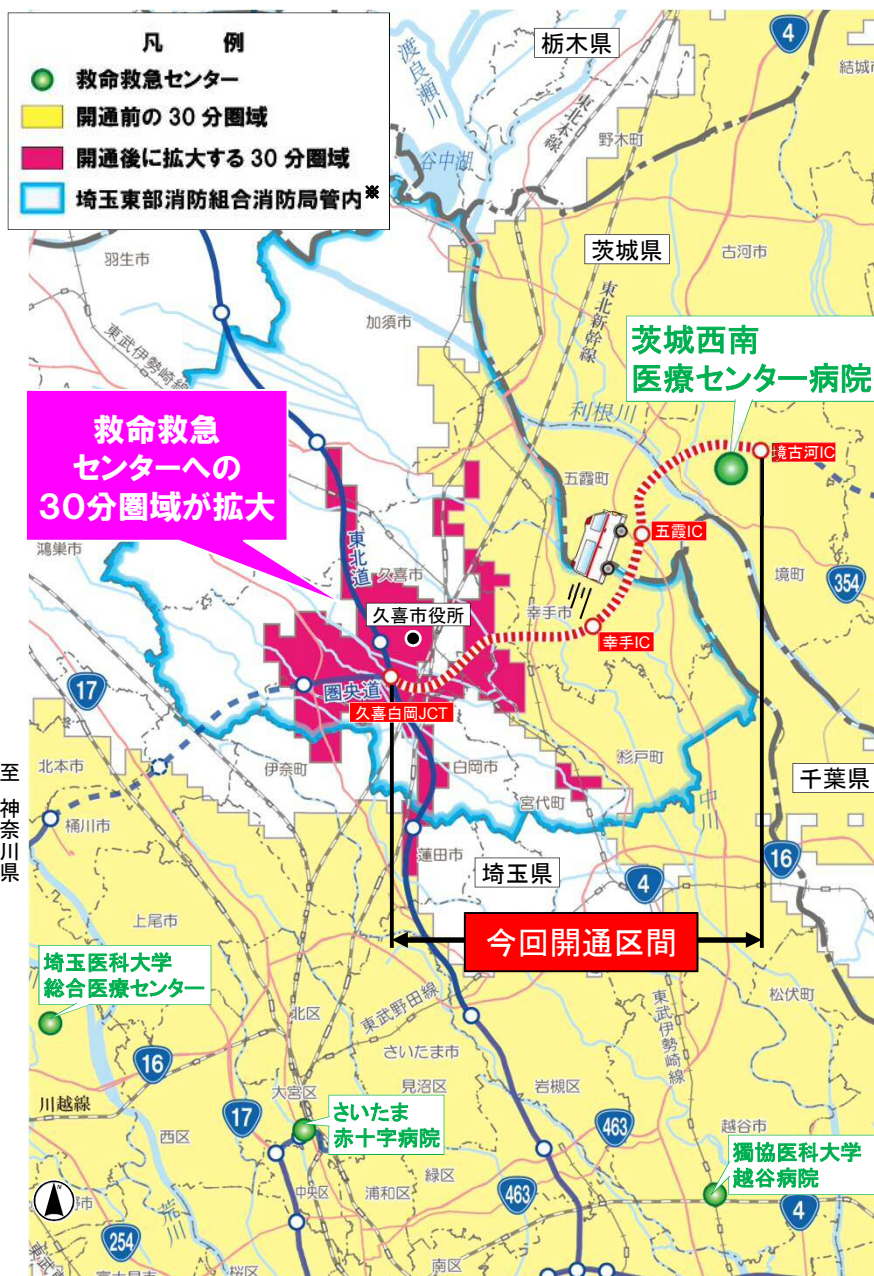


効果③ 緊急・災害時の対応力強化 ～安全・安心の確保～

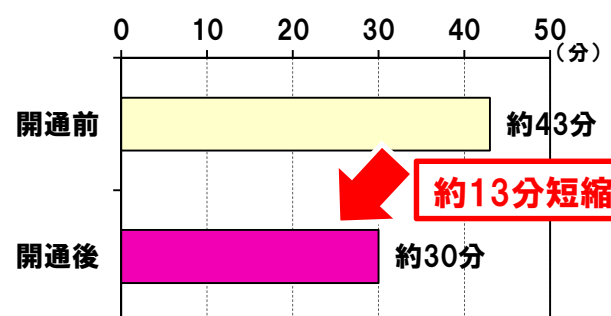
- 圏央道（久喜白岡JCT～境古河IC間）の開通により、救命救急センターまでの所要時間が短縮され、迅速な救急活動に寄与します。
- 埼玉東部消防組合消防局管内※において、茨城西南医療センター病院への30分圏が拡大し、より早く搬送することが可能になります。 ※加須市、久喜市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町（4市2町）

救命救急センターへより早く搬送することが可能に

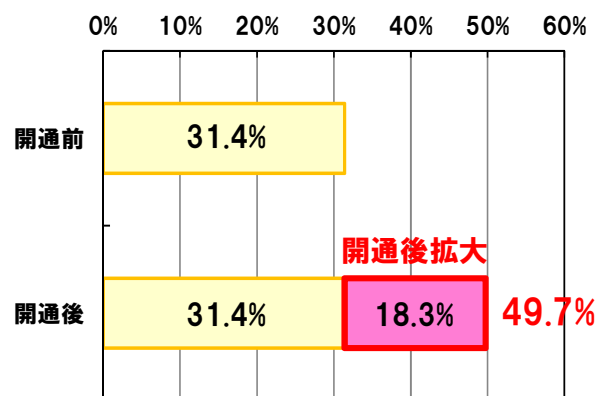
【圏央道（久喜白岡JCT～境古河IC間）開通による
救命救急センターへの30分圏域の変化】



【久喜市役所から茨城西南医療センター病院
までの所要時間の変化】



【埼玉東部消防組合消防局管内における
救命救急センター30分圏域カバー人口率】



出典）時間圏域算出は、平成22年度道路交通センサスの12時間平均旅行速度から算出、新規開通区間は規制速度から算出。
30分圏域はメッシュ単位で計測し、カバー人口は該当するメッシュ単位の人口（平成22年国勢調査500mメッシュ）を集計。

【埼玉東部消防組合消防局の声】



消防関係者

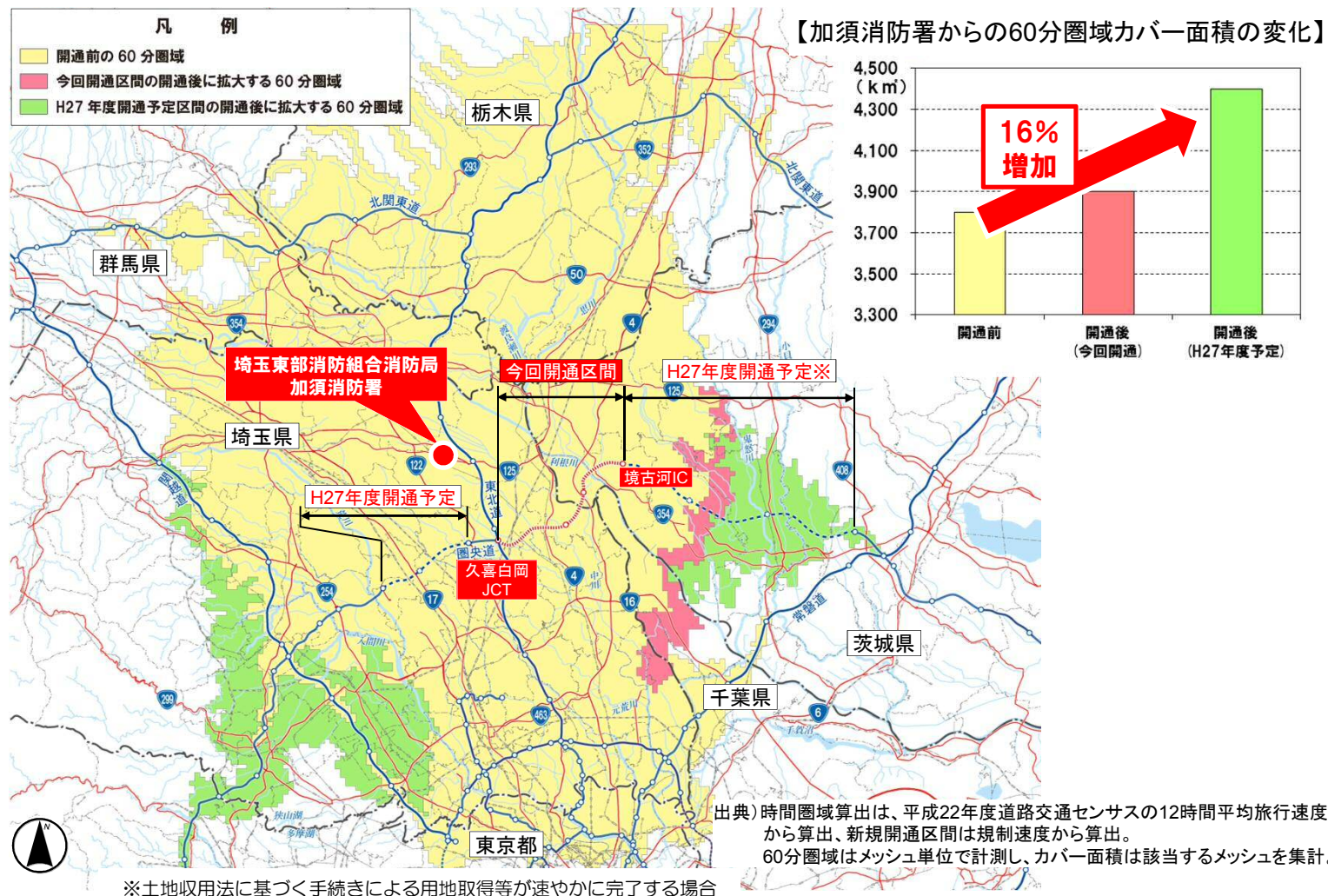
- ・当管内では、茨城西南医療センター病院へ年間約300件程度搬送しています。
- ・圏央道が整備されると、搬送先の選択肢が増えるとともに、大幅に時間が短縮され、より早く救急病院への搬送が可能になります。
- ・特に、重篤な傷病者の搬送では緊急を要するため、5分の短縮でも非常に効果が高い。
- ・高速道路は信号交差点の通過がないため、減速・加速による傷病者への負荷軽減にも寄与します。

出典）平成27年2月 ヒアリング調査（北首都国道事務所調べ）

効果③ 緊急・災害時の対応力強化 ～安全・安心の確保～

- 今回開通区間に近い埼玉東部消防組合消防局（加須消防署）では、平成26年度に「津波・大規模風水害対策車両」が配備予定であり、圏央道の整備により、風水害における緊急消防援助隊の活動能力向上及び活動圏域拡大が期待されます。

【埼玉東部消防組合消防局加須消防署からの60分アクセス圏域の広がり】



※土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合

【埼玉東部消防組合消防局の声】



消防関係者

- ・平成27年度より、津波・大規模風水害対策車両等の**緊急消防援助隊車両が迅速に出動できることを期待**します。
- ・圏央道の整備により、**当該車両の活動圏域が広がることを期待**しています。

出典) 平成27年2月 ヒアリング調査(北首都国道事務所調べ)

注) 圏央道開通による圏域の広がりを示すものであり、活動圏域を示したものではありません。

津波・大規模風水害対策車両(平成25年度より順次配備)

全長約9.3m、全幅約2.5mで、泥ねい地において高い走破性のある水陸両用バギー等の資機材を積載し、津波や大規模風水害による冠水地域での人命救助に特化した特殊消防車両



＜小型水陸両用バギーの活用状況＞



出典) 平成26年版消防白書(総務省消防庁)、消防の動き'14年8月号

＜配備先消防本部＞

都道府県名	消防本部名
1 北海道	苫小牧市消防本部
2 岩手県	北上地区消防組合消防本部
3 宮城県	塩釜地区消防事務組合消防本部
4 茨城県	日立市消防本部
5 埼玉県	埼玉東部消防組合消防局
6 神奈川県	平塚市消防本部
7 新潟県	新潟市消防局
8 富山県	富山県東部消防組合消防本部
9 愛知県	海部南部消防組合消防本部
10 大阪府	大阪市消防局
11 兵庫県	神戸市消防局
12 和歌山県	和歌山市消防局
13 島根県	江津邑智消防組合消防本部
14 岡山県	岡山市消防局
15 徳島県	徳島市消防局
16 熊本県	八代広域行政事務組合消防本部
17 沖縄県	那覇市消防局

※3及び5については平成26年度配備予定、その他は配備済み

全国15消防本部に配備済み
新規に2消防本部に配備予定